

令和2年10月9日

南砺市長 田 中 幹 夫 様

福野地域まちづくり提言実現検討組織
拠点づくりグループ」一同

「福野地域の新しい核となる拠点づくり」について

福野地域まちづくり提言実現検討組織の「拠点づくりグループ」は、平成30年12月に福野地域のまちづくり検討会議で提言された、「まちの優位性を活かした、新しい核となる拠点づくり」について、令和元年度よりその実現のための細部の検討を重ねてきました。

そして、令和2年8月に開催した地域住民との意見交換会で、改めて福野庁舎に代わる新たな拠点施設が必要だということと、そしてその拠点施設としての「複合交流施設」が持つ具体的な機能案を提示し、参加者の拍手多数によって福野地域全体の総意であることを確認しました。（検討内容及び意見交換会での説明資料は別紙のとおりです。）

建設場所は、小学校・保育園などが近く、まちの中心でもあるファブリカ跡地を活用し、地域住民が一丸となって、庁舎が無くなった後のまちの活性化とまちが抱える課題解決を叶えられる拠点施設となるよう、早期に整備下さるようお願い申し上げます。

「福野地域の新しい核となる拠点づくり」の検討内容

福野地域は、南砺市外からの就労者が多い大手企業があることや保育園・小学校・中学校・福野体育館・ヘリオスなど文教ゾーンが中心市街地にコンパクトにまとまっているといった、まちの優位性がある一方で、福野中部地区等の住民アンケート結果などからは、まちの課題も見えてきた。

私たち拠点づくりグループでは、この、まちの優位性を活かしつつ、かつ、まちの課題を解決するために、次のとおり検討を重ね、とりまとめた。

1 拠点づくりの視点

- (1) 庁舎が無くなった後のまちの活性化（市街地を中心に検討）
- (2) 行政センター機能の見直しに伴う、市民センターの移転先
- (3) 福野産業文化会館の老朽化に伴う、小規模多機能自治の活動拠点整備
- (4) 定住化促進を図るための、共働き世代への支援
 - ア 放課後児童(中でも高学年児童)の居場所づくり
 - イ 子育て支援
- (5) 高齢者の居場所づくりや通所型サービスB型事業の取り組み
- (6) サークル活動等生涯学習の推進と幼児から高齢者までが交流できる賑わい空間の創出

2 「複合交流施設」の規模及び機能

- (1) 「複合交流施設」の規模

公共施設再編計画の観点から、福野地域での廃止(スクラップ)に対し、建設(ビルド)を50%以内にする。

 - ・ 廃止する施設 8,190 m²(庁舎/産業文化会館/公民館/旅川福祉交流館等)
 - ・ 建設する複合交流施設 1,865 m² → 廃止対象面積に対する23%
- (2) 「複合交流施設」の機能
 - ① 福野中部まちづくり協議会スペース（小規模多機能自治の活動拠点）
 - ② 市民センタースペース（市民の窓口）
 - ③ 放課後児童学習スペース
 - ④ 子育て交流スペース
 - ⑤ 高齢者の交流スペース（高齢者の居場所、通所型サービスB型事業）
 - ⑥ サークル活動等生涯学習スペース
 - ⑦ テナントスペース
 - ⑧ エントランスとギャラリースペース
 - ⑨ そのほか芝生広場、駐車場など

3 位置及び整備手法等の検討

- (1) 位置は、小学校・保育園等に近く、まちの中心であるファブリカ跡地
- (2) 整備手法については、①市による複合交流施設単体整備、または、複合交流施設の規模及び機能が満たされることを前提として、②公民連携による住宅施設等との一体整備(民間による PFI 方式など)を検討
- (3) 複合交流施設部分の管理運営については、福野中部まちづくり協議会が主体となることを検討
- (4) 維持管理費等については、住民自治推進交付金や、市からの各種業務委託による委託料・テナント収入・施設利用料などにより、大半を賄えるように検討

4 複合交流施設が整備されることによって解決できること

- (1) 庁舎の取り壊しに伴う、市民センターの移設場所が確保できる。
- (2) 福野産業文化会館の老朽化に伴う、代替施設が確保できる。
- (3) 福野中部まちづくり協議会の活動拠点が確保できる。
- (4) 地域の課題である、高齢者の居場所づくりや放課後児童の居場所・子育て支援体制を充実させ、共働き世帯を支援する定住化促進のまちづくりが実践できる。
- (5) 当該施設の利用は、福野中部地区の住民だけでなく、市民センターや放課後児童の居場所・子育て支援などの取り組みのように、福野地域全体を想定したものであり、福野地域全体のコミュニケーションを促進できる。

その他まちづくりに関すること

ファブリカ跡地や庁舎跡地等、用途地域内での住宅開発における住宅購入者に対し、市の助成制度を拡充支援することにより、空洞化したまちなかを復活させ、コンパクトなまちづくり(コンパクトシティ)を推進していただきたい。

福野地域の 新しい核となる「拠点づくり」 の構想（案）

福野地域提言実現検討組織
【拠点づくりグループ】

まちの優位性を活かした 新しい核となる拠点づくり

（まちの優位性）

- 保育園、小学校、中学校、高校、体育館、ヘリオス(図書館含む)などが文教ゾーンとして中心市街地にまとまっている。
- 川田工業、コマツNTC、三協アルミなどの大手企業や砺波土木センターなど県の出先機関があり、人口減少率は市内で最も低い。

（まちの課題）

- 空き家、空き店舗、ファブリカ跡地、庁舎跡地などの活用
- 若者の定住化対策と共働き世帯の支援
- 高齢者の居場所づくりなど

拠点づくりの視点

- ①庁舎が無くなった後の**まちの活性化**(市街地を中心に検討)
- ②行政センター機能の見直しに伴う、**市民センターの移転先**
- ③産文の老朽化に伴う、**小規模多機能自治の活動拠点整備**
【福野中部まちづくり協議会(自治振興会/公民館/地区社協を一つにした組織)による、地域課題解決の取り組み】
- ④**まちの課題解決** ⇒ **共働き世代を支援、定住化促進**
 - 放課後児童の居場所づくり
 - 子育て支援
 - 高齢者の居場所づくりや通所型サービスB型事業
 - サークル活動等の生涯学習の推進
- ⑤幼児から高齢者までが**交流できる空間**(賑わいの創出)

福野中部地区
アンケートの
重要度認識より

複合交流施設の規模および機能

- 1 公共施設再編計画の視点から、福野地域内でのスクラップ&ビルドで**50%を削減目標**とする。

廃止する施設面積 8,190m² (庁舎/産文/公民館/旅川福祉交流館等)

複合交流施設面積 1,865m² ⇒ 廃止対象面積に対する23%

2 複合交流施設の機能

- ①福野中部まちづくり協議会 ②市民センター(市民窓口)
- ③高齢者交流スペース ④児童学習スペース ⑤子育て交流スペース
- ⑥サークル活動等スペース ⑦テナントスペース
- ⑧エントランスとギャラリースペース
- ⑨そのほか芝生広場、駐車場 など

複合交流施設面積算出

公共施設再編計画の視点からの試算（案）

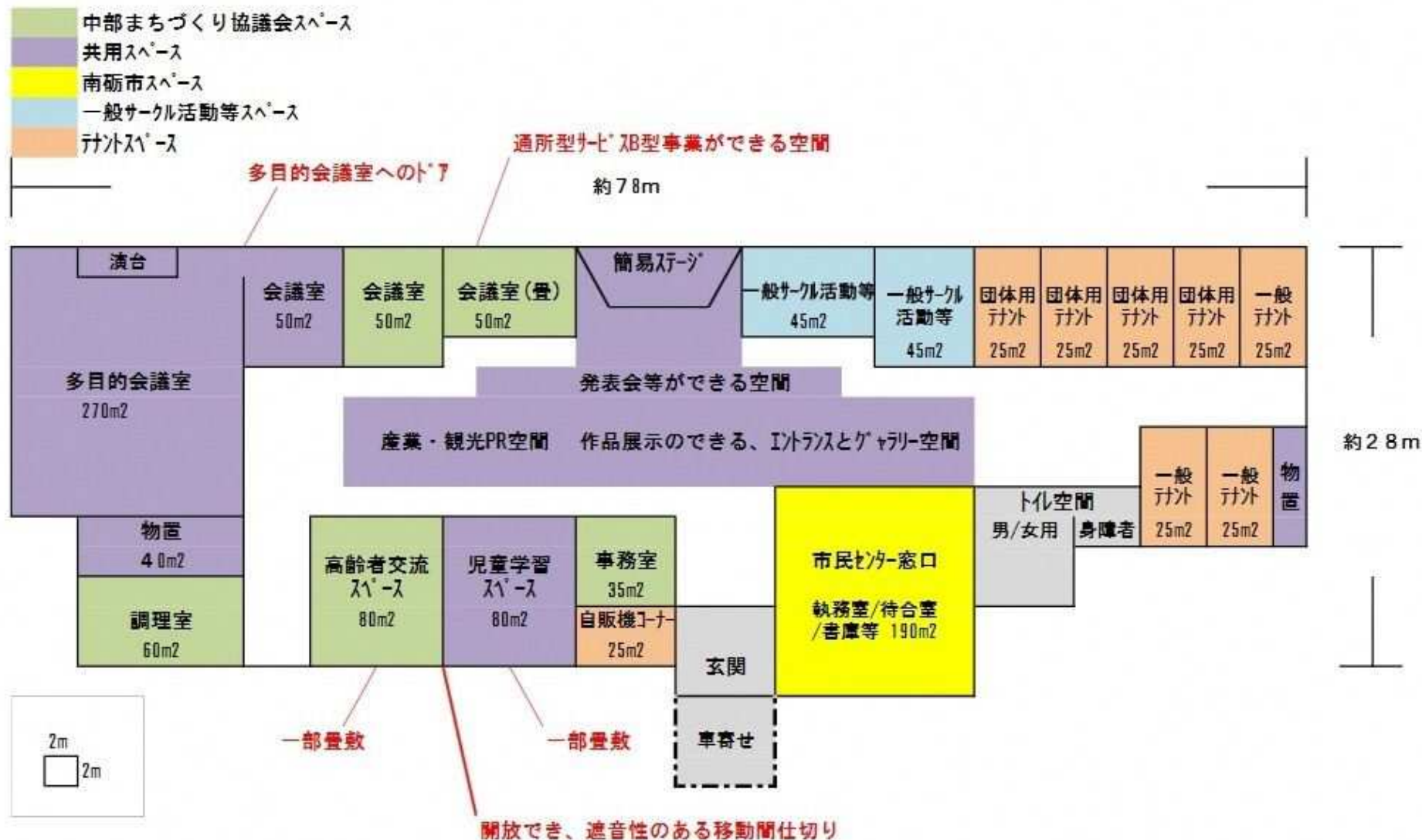
(1) 福野地域内でのスクラップ & ビルド で50%削減目標

新しい核となる拠点施設						廃止する施設		
施設名	行政施策との関連	施設区分	施設内容/規模		延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)	
複合交流施設	小規模多機能自治の推進	中部まちづくり協議会	事務室		35	福野産業文化会館	1,062	
			多目的会議室	150名規模	270	福野中部公民館	87	
			会議室3	50㎡×3	150	ひびきの家	194	
			調理室		60	福野庁舎	5,578	
			物置等		50	(内行政ビル70㎡)	(285)	
	高齢者の地域で支え合う体制づくり	高齢者の居場所づくり	高齢者交流スペース	40名規模(40畳)	80	旅川福祉交流館	1,269	
	子育て支援	放課後児童の居場所づくり	児童学習スペース	40名規模(40畳)	80			
		幼児子育て空間	子育て交流スペース					
	行政改革	市民窓口-窓口	市民窓口-窓口		190			
	生涯学習	一般サークル活動等	会議室2	45㎡×2	90			
	持続可能な運営	テニスコート空間	一般テニスコート	25㎡×3	75			
			団体用テニスコート	25㎡×3	75			
			物販テニスコート	25㎡×1	25			
			エントランスとギャラリー空間	エントランスとギャラリー、産業・観光PR空間	300			
		その他空間	玄関/ロビー/トイレ空間等(延床面積×0.3)		385			
合計		(屋外空間)	(芝生広場)		(1,000)			
		(駐車場)	(60台×20㎡/台+通路4m×60)		(1,440)			
					1,865	⇒廃止対象面積に対する23%		
施設の目標面積	廃止面積に対する50%目標面積				4,100 (1,450)	廃止対象面積	8,190 (2,897)	

位置及び整備手法等の検討

- 1 整備位置 小学校/保育園/産文に近い、
まちの中心地である**ファブリカ跡地**
- 2 整備手法 PPP(公民連携)方式も含め検討
 - ①案 複合交流施設単体整備(南砺市)
 - ②案 住宅施設と一体整備(民間によるPFI方式等)
- 3 管理運営主体 複合交流施設部分は、**福野中部まちづくり協議会**
が主体となった管理運営を検討
- 4 維持管理費等 住民自治推進交付金、市の委託料、テナント収入、
利用料など

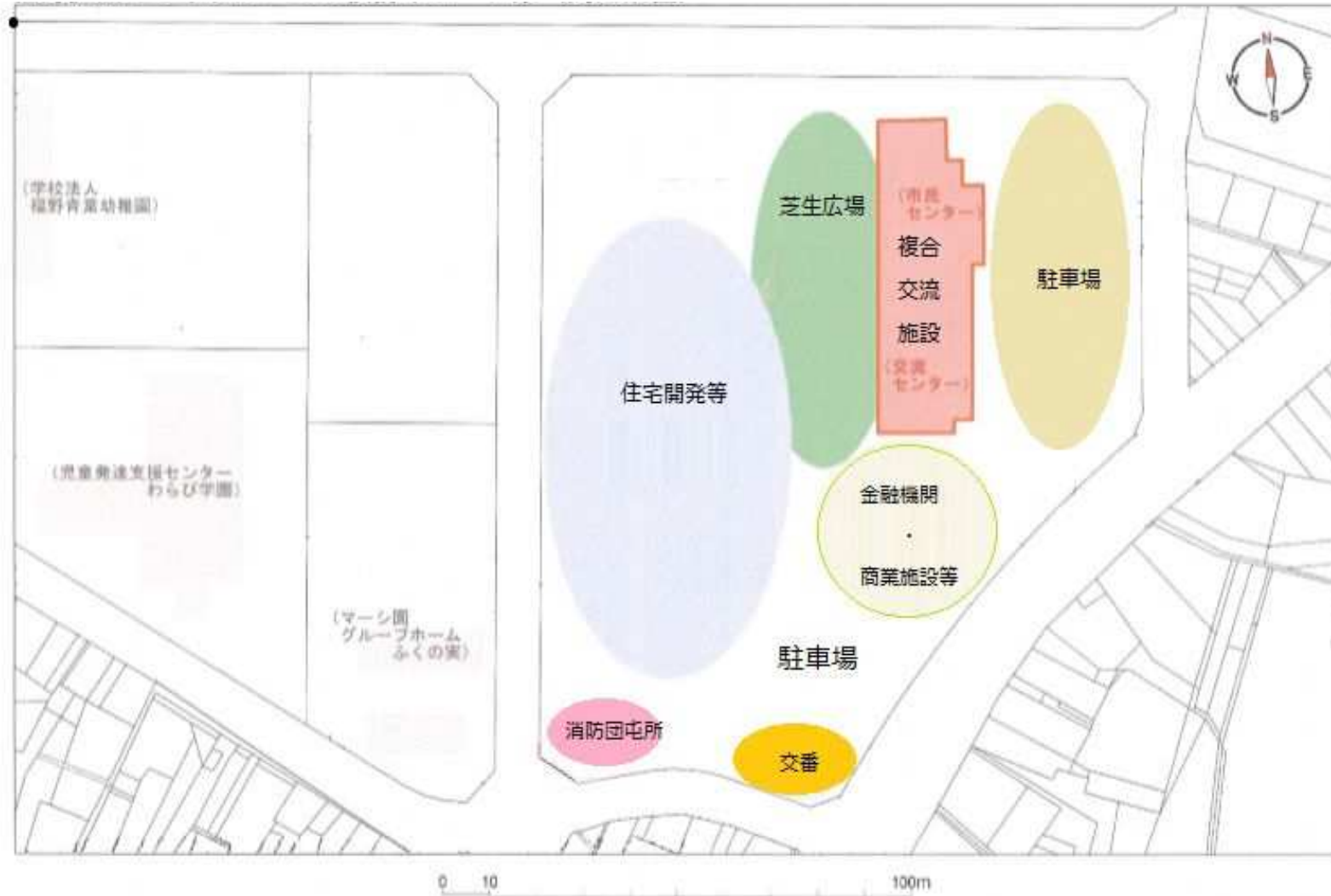
複合交流施設内の配置イメージ（案）



複合交流施設の外觀イメージ（案）



複合交流施設および周辺施設の配置イメージ（案）



複合交流施設の整備によって解決できる課題

- ①庁舎の取壊しに伴う**市民センターの移設場所が確保できる**
- ②産文の老朽化に伴う**代替施設が確保できる**
- ③福野中部まちづくり協議会の**活動拠点が確保できる**
- ④地域の課題である**高齢者の居場所づくりや子育て支援体制を充実し、**
共働き世帯を支援する定住化促進のまちづくりが実践できる。

進め方の留意点

○ファブリカ跡地で**速やかに複合交流施設を整備し、**
市民センターの移設について手戻りのないようにする。

その他まちづくりに関する要望

- 1 ファブリカ跡地や庁舎跡地等の住宅開発について、南砺市外からの就労者が多い福野地域の優位性を活かし、定住化を促進するため、**用途地域内での住宅購入者に対する市の助成制度の拡充**が必要(コンパクトシティの誘導)
- 2 庁舎跡地について、4～5年以内に現庁舎を撤去し、住宅開発を進めること。

みんなの思いを一つにして、まちづくりを！